

糸電話

糸電話

紙コップ二つを糸でつないだ糸電話で話すと、はなれていても、相手の声がよく聞こえます。どうして、声がつたわるのでしょうか。声は、空気のふるえです。紙コップに向かって話すと、声のふるえで紙コップのそこがふるえます。そのふるえが、糸をつたわって、相手の紙コップのそこをふるわせ、ふたたび声になって聞こえるのです。

糸がたるんでいると、ふるえはうまくつたわりません。糸をピンとはることが大切です。紙コップの代わりに、プラスチックのコップや、かんを使っても、声をつたえることができます。

また、話しているとちゅうで糸を指でつまむと、声は聞こえなくなります。指が、糸のふるえを止めてしまうからです。

1 声は、何のふるえですか。



のふるえ

2 声がつたわるじゅんに、□に1・2・3を書きましょう。



糸がふるえる。



話す人の紙コップがふるえる。



相手の紙コップがふるえる。

3 声がよくつたわるようにするには、糸をどうすればよいですか。

ア たるませる。

イ ピンとはる。

ウ ぬらす。

4 糸を指でつまむと、声が聞こえなくなるのはどうしてですか。

--	--